

使っている花 ■ パンジー
(カルメン)、ミモザアカ
シア、タラスピオフィアム



3月
March

WEEKEND
FLOWER

パンジー

花言葉 | もの思い/私を思って

蝶々のようなパンジーを束ねて
少女のころを思い出す春のブーケ

プロが伝授!花を長く楽しむアドバイス

- 切り花で出回るパンジーはとても花持ちが良く、蕾もよく咲きます。
- 茎が短い場合が多いのですが、活ける際は必ず切り戻しましょう。
- 切り花栄養剤を使用すると水が汚れにくく、花もさらに長く楽しめます!

お家で簡単! 3ステップアレンジ

- ①あらかじめ、パンジー、ミモザの小枝の水に浸かる部分の下葉を取り除き、同じくらいの長さにカットしておきます。
- ②パンジーを数本片手に持ち、花と花がぶつからないよう茎の向きを整えます。パンジーの足元を覆うようにミモザを組み合わせます。
- ③全体のフォルムが丸くなるように整え、アクセントにタラスピオフィアムを長めに加え、全ての茎を輪ゴムか麻ヒモなどでくくり、最後に茎の長さを揃えるようにカットします。切り花栄養剤を加えた水に活ければ出来上がり!

ひらひらふわり、春ブーケ

美しい蝶のような色彩で、ノスタルジックな雰囲気につつまれるパンジー。名前の由来は仏語「pensée(思考)」で、花顔が物思いにふける人の顔に似ているからだとか。日本の優れた育種力により、大輪八重咲きでフリルが強く丈の長い切り花用パンジーが開発され一躍人気に! 最近ではエディブルフラワーとしても注目を集めています。

